

法誓寺自治会

交流・親睦活動

法誓寺自治会では平成 29 年から冬の恒例行事として、鮭稚魚の放流会を行っている。地区内 3 つの子ども会と共催し、木賊川分水路から約 5 千匹の鮭稚魚を放流。放流会のあとは分水路公園での夢灯り。放流に使ったバケツに公園内の雪を詰めてランタンを作り、親子でロウソクに火を灯す。毎年親子 100 人以上が参加し、寒さに負けず冬ならではの行事を楽しんでいる。

その他にも恒例行事として、夏は 7 月に文化福祉部主催の子ども夏祭りを開催。子ども会育成会協力のもと、分水路公園で射的やゲーム、スイカ割り、焼きそばやイワナ塩焼きのおふるまい等で盛り上がる。8 月は北陵中学校のグラウンドで大運動会を開催。新興住宅も増え、子どもも多く参加することから、初期消火訓練も同時に実施している。消防団から指導を受け、子どもたちも消火器を使用した実地訓練を体験する。



鮭稚魚の放流会

分水路を長く機能させるために

たびたび洪水による浸水被害が発生していた木賊川の水害を防ぐため、平成 23 年に木賊川分水路が完成した。この分水路を大切に使い、安全安心な地域を守っていくため、平成 27 年から毎年 3 回、1 日 2 時間程度の草刈り事業を開始。地域で草刈り機を所有している方に自治会でボランティア保険をかけて草刈りをしてもらって

る。燃料費も自治会が負担し、あくまで各々ができる範囲で無理なく行うことを前提としており、協力者も増えてきた。川沿いという危険な場所のため、木賊川の草刈りは地域の大人の役目。冬に放流した鮭が数年後の秋に遡上してくるその光景を楽しみにしている子どもたちのため、そして地域の安全と美しい景色を守るため、維持に努めている。また、平成 28 年以降から道路沿いの街路樹跡に花を植える活動をしている。これは平成 28 年の岩手国体に合わせた「花いっぱい運動」から継続して行っているもので、地区内の道路を明るく彩っている。



木賊川の草刈り

今後の活動

自治会役員のなり手不足は法誓寺自治会でも課題となっており、現在体制の見直しを進めている。そのひとつが子ども会との連携だ。役員会には子ども会の役員にも参加をしてもらい、各会の出来事を自治会で共有している。今後も全部会で協力しながら自治会活動に取り組んでいきたい。



後列左から山谷仁氏(事務局長)、工藤功氏(前総務部長)、川村勲氏(環境衛生部長)、前列左から蛇口繁孝氏(悠和会事務局長)、吉田康夫氏(自治会長)